



## 生命の星・エウロパ

主人公の自慢の父親は生物学者。30年前のある日、主人公と父親は、当時話題だった“ガリレオ衛星ツアー”に出かけます。これをきっかけに、主人公は「エウロパに生き物は絶対いる！」「確かめたい！」と強く思うのです。やがてその一心で宇宙飛行士になり、エウロパの生命探査へ向かう主人公。エウロパ表面の氷を砕き、いよいよ海へと潜っていきます。果たして、エウロパに生命は存在するのでしょうか…？ 暗い海の先に、いったい何が見えるのか…目が離せません！

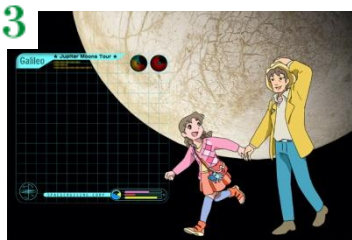
投影時間	25分	対象	小学校低学年以上
登場人物	主人公 少女 主人公の父	宇宙飛行士	アトラクションガイド
素材	全天周デジタル版	監修	長沼毅 准教授 広島大学大学院 生物圏科学研究科



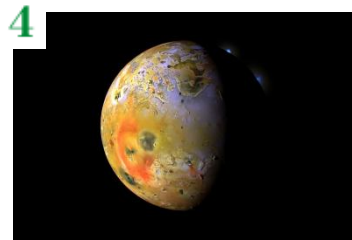
1 主人公の父親は生物学者。よく深海へ、微生物を探しに行きます。“海底のインディージョーンズ”と呼ばれることも。彼の夢は、地球外生命を見つけること。行動力のある父親は、主人公にとって自慢の父親なのです。



2 主人公が父親の研究に興味を持ったきっかけは、30年前。一緒に木星の観測をしていた時でした。「近くに星が3つあるよ。あっ、もう1つあった！」「それは木星の周りを回る衛星なんだ」「もしかして、ガリレオ衛星？」



3 当時、将来のエウロパ有人探査計画にちなんで、“ガリレオ衛星ツアー”というアトラクションが話題となっていました。「エウロパって、どんな星なんだろう？」2人はツアーへ出かけることに。「楽しみだね。お父さん！」



4 出発のベルが鳴り、いよいよツアーが始まります。まずは、木星を横切り、第一衛星イオの上空を飛行。太陽系で最も強力な活火山ロキヤペレの姿に迫ります。「すご～い！イオの火山って、ホントに噴火しているんだね」



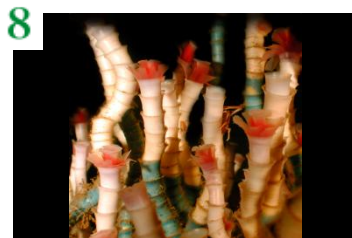
5 次は、第二衛星エウロパ。氷に覆われた表面に迫ります。「こうして見えるのは、氷ばかりなのにね。この下にホントにあるのかな？海や火山が」「そう思うだろう？だから将来、探査に行こうとしているんだよ」



6 ガリレオ衛星ツアーから帰ってきた2人は、エウロパについて話します。「エウロパには、海と火山の両方があるかもしれないだろう？ということは、生き物がいるかもしれないんだよ」「えっ？どういうこと？」



7 「地球に最初の生命が誕生したのはね。深い海の底、太陽の光も届かない、酸素もない、海底火山の近くだったと言われていたんだ」今の地球の海には、進化した生き物がたくさんいますが、原始的な生き物もいるのです。



8 想像を超えた、不思議な生き物もたくさんいます。海底火山の近くに棲む“チューブワーム”。もしも、エウロパに海底火山があったら…「そうだとしたら、同じような生き物がいる？…かもしれないよね！」



9 2050年、主人公は「エウロパに生き物がいることを確かめたい！」という一心で宇宙飛行士になり、エウロパの生命探査に出発します。「任せといて！なんたって、“海底のインディージョーンズ”の娘なんだから」



10 エウロパ表面の氷を砕き、いよいよ海へと潜ります。「地球の海の底に初めてもぐった時、お父さんもこんな感じだったのかしら…」暗い海を進むと…「あっ！あれは！」その先には、いったい何が見えるのでしょうか？